授業科目名・形態	精神看護学実習　　実習	必修・選択の別	必修	単位数	2
科目担当者氏名	畠山　禮子・戸田　博行	実務経験の有無	有	開講期	3年前期・後期
科目ナンバリング	N6-3013npmht				

【授業の主題】

精神に障害を持つ人との関わりを通して、病いの体験や生活の意味を知り、看護を必要とする患者およびその家族を総合的に理解し、状況に応じた援助方法を実際に学ぶ。また、精神医療保健チームの一員としての看護職者の役割、精神保健福祉法に基づく処遇等について学ぶ。

【到達目標】

1. 精神に障害を持つ人の病態を知り、病いによって影響を受けている行動が理解できる。
2. 精神に障害を持つ人との関わりを通し、対人関係の重要性を理解できる。
3. 精神に障害を持つ人を疾病と障害を併せ持つ生活者として捉え、日常生活の援助方法が理解できる。
4. 病態の治療過程を理解し、求められている看護の役割を認識することができる。
5. 患者と家族、周囲の人間関係を理解し、社会復帰に関連した社会資源活用方法について理解できる。
6. 患者のライフステージや病期を理解し、病いの体験（不安・恐怖・苦痛など）を受け止め、日常生活への援助、治療過程（薬物療法・作業療法・レクリエーション療法・生活技能訓練など）への援助について理解できる。
7. 患者 - 看護者間の相互作用のなかで、自己洞察しながら、看護過程を展開することができる。

【授業計画・内容】

詳細は実習オリエンテーションで提示する。

【授業実施方法】

臨地実習

【授業準備】

実習事前学習等については別紙で提示する。

【主な関連する科目】

「病態治療学Ⅲ（精神疾患）」「精神看護学概論」「精神看護方法論Ⅰ」「精神看護方法論Ⅱ」

【教科書等】

「病態治療学Ⅲ（精神疾患）」で使用したテキスト、

萱間真美　野田文隆　「精神看護学Ⅰ　こころの健康と地域包括ケア　現代に生きる人々のこころの健康を支える」改訂第３版　南江堂　2022.

萱間真美　稲垣　中　「精神看護学Ⅱ　地域・臨床で活かすケア　対象者の力を引き出し支える」　改訂第３版　南江堂　2022.

【参考文献】

萱間真美　パーフェクト臨床実習ガイド　精神看護第２版　照林社　2015.

萱間真美　ストレングスからみた精神看護過程　全体関連図、ストレングスマッピングシート　医学書院　2021.

【成績評価方法】

実習状況（60%）、実習記録等（40%）により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

総合病院で精神科看護職として患者や家族への対応等について経験

実務経験から得た精神科看護の役割や患者さんへのかかわり方等について実習で活かしていきたい。

【学生へのメッセージ】

傾聴・受容・共感・自己一致の姿勢で患者理解をするように努力し、科学的根拠のもと知識・技術を実習で発揮しましょう。